

授 業 科 目 名	心理学概論	教 員 名	山下 智也	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒業要件	保育士	選択必修
科 目 番 号	JIN104	配当年次	1年前期		こども音楽療育士	選択
単 位 数	2単位			小幼コース	選択	幼保コース
科 目						
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
科 目	教養科目 (保育士)					
系 列						
一 般 目 標	<p>心理学は、人間の行動や身体反応、及びそこから推論される心の動き（感情、思考、記憶、知覚、認知など）を科学的なアプローチにより研究する学問である。この授業では、心理学を初めて学習する学生を主な対象とし、心理学という学問が発生、発展してきた歴史的系譜や理論的な背景を学び、心理学の概要や基本的な考え方を身につけることを目標とする。また、人の心に客観的・実証的な手法でアプローチすることの大切さや面白さを実感し、今後、心理学の各分野を学んでいく初歩の段階での動機づけの向上や考え方の道筋をつけることを目指す。</p> <p>(1)心理学の歴史の変遷と全体像 心理学という学問が発生、発展してきた歴史的系譜や理論的な背景を学び、心理学の概要や基本的な考え方を身につける。</p> <p>(2)心理学の各分野の概要を理解する 心理学の各分野を学んでいく初歩の段階での動機づけの向上や考え方の道筋をつける。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)心理学の歴史の変遷と全体像 1)心理学誕生の歴史について説明できる。 2)心理学の対象及び方法について説明できる。</p> <p>(2)心理学の各分野の概要を理解する 1)教育心理学の概要（学習理論や動機づけ等）について説明できる。 2)発達心理学の概要（発達の原理や愛着形成等）について説明できる。 3)社会心理学の概要（リーダーシップや集団の力等）について説明できる。 4)臨床心理学の概要（適応・不適応のメカニズムや代表的な心理療法等）について説明できる。 5)その他の心理学の概要（環境心理学や家族心理学等）について説明できる。</p>					
授 業 の 概 要	<p>心理学概論の授業では、哲学を祖にして心理学が発生する流れからヴェントによる実験心理学の成立、行動主義や認知主義の隆盛など、心理学における心の考え方の大まかな歴史の変遷を学ぶ。</p> <p>また、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、社会心理学のような現在確立している心理学の1分野がどのような歴史的・理論的背景を持って発展してきたのかを学ぶ。各回で学習する内容は、初歩的で入門的な内容とし、今後、専門課程において心理学関連の授業を学ぶ際に、できるだけスムーズに入っていけるように心理学の基本的な考え方の道筋をつけることを目的とする。</p> <p>授業形態は講義とする。授業内で出される課題についてのグループディスカッション、心理学実験、プレゼンテーション等のアクティブラーニングを部分的に取り入れる。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	特になし					
授 業 計 画	第1回：「心とは何か」について考えることを通して、心理学とはどのような学問かについて学ぶ。					

	<p>また、心理学を学ぶ意義や目的について考える。(目標(1)-1))</p> <p>第2回: 1879年にヴントが心理学研究室を設置したのが心理学の発祥とされるが、それまでの経緯や当時の心の考え方の特徴について学ぶ。(目標(1)-1))</p> <p>第3回: ヴントの心理学を元に派生・発展していった心理学の系譜(行動主義心理学・ゲシュタルト心理学・精神分析)を学ぶ。(目標(1)-1), 2))</p> <p>第4回: 実験法や調査法、観察法など様々な心理学の手法及び方法論について学ぶ。また量的研究と質的研究の違いやそれぞれの特徴について学ぶ。(目標(1)-2))</p> <p>第5回: 教育心理学における古典的な学習理論(経験説・認知説)の概要について学ぶ。(目標(2)-1))</p> <p>第6回: 記憶とは何かについて身近な事例から考えた後、記憶に関する基礎理論(長期記憶、短期記憶、忘却等)を学ぶ。(目標(2)-1))</p> <p>第7回: 発達心理学における人の発達の原理や愛着形成の重要性について学ぶ。(目標(2)-2))</p> <p>第8回: ピアジェやエリクソン、フロイト等の著名な発達理論について学ぶ。(目標(2)-2))</p> <p>第9回: 社会心理学におけるリーダーシップ論について学ぶ。(目標(2)-3))</p> <p>第10回: 集団の力や場の理論等、社会心理学に関連する著名な理論について学ぶ。(目標(2)-3))</p> <p>第11回: 性格などの個人差がどのように考えてこられたのかについて、性格心理学や人格心理学における理論の内容とその発展経緯について学ぶ。(目標(2)-4))</p> <p>第12回: 臨床心理学における精神疾患の理解と心理療法(行動療法、来談者中心療法)について学ぶ。(目標(2)-4))</p> <p>第13回: 臨床心理学における心理療法(精神分析療法、認知行動療法、遊戯療法、箱庭療法等)について学ぶ。(目標(2)-4))</p> <p>第14回: 家族心理学における家族療法について学ぶ。(目標(2)-5))</p> <p>第15回: 環境心理学における人の心理と環境の関係性について学ぶ。(目標(2)-5))</p> <p>期末試験</p>
学生に対する評価	<p>授業外学習の課題として提出するレポート・ワークの内容と学期末試験の結果による総合評価を行う。評価の割合はレポートが全体の30%、期末試験の成績が全体の70%とする。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> </ul>
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習: 毎回次回の予告を行い、次回までの課題を提示する。</p> <p>事後学習: 学習内容を自分の言葉で他者に説明できるようになるよう努めることとする。</p> <p>授業の冒頭で、前回の授業内容についての説明を求めることがある。</p>
テキスト	<p>テキスト: 授業毎に資料、ワークシートを配付する。</p>
参考書・参考資料等	<p>『心理学(第5版)』(鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編集) 東京大学出版会 2015)</p> <p>参考資料等は、適宜提示する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>授業への主体的な参加を期待します。</p>
オフィスアワー	<p>火・木曜日 14:40~16:10</p>